「父親」を楽しむ生き方へ

ファザーリング・ジャパン九州が講演会と絵本ライブ

今、育児に積極的にかかわる〝イク（育）メン〟が話題になっています。育児を楽しみ、子どもの笑顔とともに自分自身も成長したいというお父さんのこと。仕事中心の生き方から、父親であることを楽しむ生き方へ―その入り口は、絵本の読み聞かせだそうです。子育てパパを応援する任意団体ファザーリング・ジャパン九州（FJQ）のイクメンたちが14日、佐賀県鳥栖市のスーパーセンターイズミ鳥栖店で、子育て講演会と絵本ライブを開きました。表情豊かに絵本を読むパパたちの奮闘ぶりを紹介します。

◆自分らしい人生のために

今年4月に福岡の子育て中のパパたちが集まって結成されたFJQ。九州のパパを集めたサミットや絵本ライブを開くなど、多彩な活動をしています。この日は、佐賀にもイクメンを広げたい―という特定非営利活動法人と市民活動ネットワークの招きによる、福岡県外では初の講演会&絵本ライブ。講演会では、代表の小津智一さん(38)と常務理事の中村守男さん(33)が、約20人の親子と一緒に子育てを語り合いました。

「長い人生の中で、子育ての時期はほんのわずか。お金を稼ぐだけでなく、子どもと向き合って、自分らしい良い人生を築こう」と、イクメンの思いを語る中村さん。そのために小津さんは、毎朝4時半に起き、早めに出社して仕事をこなすなどで、家での育児の時間をつくっているそうです。

ファザーリング・ジャパン九州の絵本ライブ
―佐賀県鳥栖市のスーパーセンターイズミ鳥栖店

笑顔で父子の触れ合い

「周囲の理解」へアピールも必要

仕事と育児を両立させるためには、何より職場の理解が必要ですが、2人は、子育ては多くの人が通る道。子育て中のパパやママが、職場の雰囲気を変えていって、仕事と育児が両立した社会を実現しましょう。FJQが絵本ライブを呼び掛けました。

そして、子どもとの触れ合いは、絵本などの読み聞かせが、一番簡単で効果が大きいそうです。

ファザーリング・ジャパン九州の講演会

◆歌いながら読む絵本ライブ

読み聞かせは「どこでもできるし、5分もあれば絵本を読んであげられる。子どもをひざに乗せて読むだけで、心が通じ合う」という小津さん。

子どもたち最初は「パパの方がいい」とケンカするが、会社や同僚の理解も得られやすいなど、実体験からアドバイス。子どもたちは、目を輝かせてくれる、父親であることを実感するひとときです。夜遅く家に帰って来ても、子どもたちの寝顔が癒やしになるなどで、育児を大切にしていることを周囲にアピールするが、それでおろそかにはいけない。読むうちに、子どもは、イクメンへ誘う入り口でもあるからです。

講演後の絵本ライブは、小学生低学年以下の子ども8人が見守る中でスタート。いすやテーブルに並べられた絵本の中から、子どもたちのリクエストで選んだ計5冊の絵本を、小津さんらと会場から飛び入り参加したパパが読み、また、本の店を見掛け、子どもを寝かしつけるのに絵本を読んであげようと思いついたのがきっかけで、家での読み聞かせが始まりました。

多くの子どもたちの前で絵本を読むのは、この絵本ライブが初めて。温音君と美音ちゃんは、谷口さんの真ん前に陣取って応援してくれました。ひざに立てた絵本に目をやりがちで、うつむき加減になってしまうパパに、下から美音ちゃんがのぞき込む。そのたびに顔を上げ、みんなの方を見る谷口さん。「家でやっているようにやったつもりですが…」と、照れる谷口さんに、小津さんは「良かったですよ」

温音君は小学生になって、早く寝るようになったので、パパが読んであげる夜が少なくなったそうです。その分、美音ちゃんは「これ読んで」と、絵本を持って来ます。「子どもが成長するのはうれしいけど、いつまで絵本を読んであげられるかな」と、谷口さん。1人で本を読むようになった温音君に、少し寂しさを感じています。

◆いつまで読んでやれるかな？

絵本ライブに飛び入り参加した福岡市の谷口忠さん(38)は、小学1年の温音君(6)と美音ちゃん(4)のパパ。子どもが生まれる前には、イクメンになるなんて考えもしなかったが、勤務が3交代制でパートの妻とのすれ違いも多く、自然と子どもたちのリクエストで選んだ計5冊の絵本を、小津さんらと会場から飛び入り参加したパパが読み、また、本の店を見掛け、子どもを寝かしつけるのに絵本を読んであげようと思いついたのがきっかけで、家での読み聞かせが始まりました。

多くの子どもたちの前で絵本を読むのは、この絵本ライブが初めて。温音君と美音ちゃんは、谷口さんの真ん前に陣取って応援してくれました。ひざに立てた絵本に目をやりがちで、うつむき加減になってしまうパパに、下から美音ちゃんがのぞき込む。そのたびに顔を上げ、みんなの方を見る谷口さん。「家でやっているようにやったつもりですが…」と、照れる谷口さんに、小津さんは「良かったですよ」

温音君は小学生になって、早く寝るようになったので、パパが読んであげる夜が少なくなったそうです。その分、美音ちゃんは「これ読んで」と、絵本を持って来ます。「子どもが成長するのはうれしいけど、いつまで絵本を読んであげられるかな」と、谷口さん。1人で本を読むようになった温音君に、少し寂しさを感じています。

読み聞かせをするリブロ福岡西新店の深江理代さん（左）

書店も活発に読み聞かせ会

リブロ西新店、あおい書店など

福岡県内では、店舗内でインターネットのホームページに掲載したり、店内に掲示して広報すると、お母さんや子どもたちが集まってきます。

リブロ福岡西新店（福岡市早良区西新）は毎週土曜午後3時半から、店内で読み聞かせ会を開きます。書店員や臨場感たっぷりに読んでいますが交代で担当します。イベントスタッフ

あおい書店博多本店（福岡市博多区博多駅中央街）は毎月第2日曜午後3時から、人形劇風の読み聞かせを実施しています。絵本に合わせてキャラクターや人形などを作り、子どもたちの興味を引くように工夫しています。

担当の瀬尾美智さんは「年に1回、お店内には、物語を読み上げて、何の物語の場面かを考えて取るゲームの場面かを考えて取るゲームもするんです。子どもたちには読書を押し付けるのでなく、物語の世界を楽しんでほしい、という思いです」と話していました。

「本好きになるきっかけに」

書店員では児童書担当の深江理代さんが受け持ちます。約30分間、4冊ほどを読み聞かせ会を開きます。書店員やボランティアスタッフが交代で担当します。イベントを通じ、季節に合ったものだったり、絵が面白いものなどです。事前に読んで練習し、本番に臨もうそうです。深江さんは「私も楽しんできます。

書店員では児童書担当の深江理代さんが受け持ちます。約30分間、4冊ほどを読み聞かせ会を開きます。書店員やボランティアスタッフが交代で担当します。イベントを通じ、季節に合ったものだったり、絵が面白いものなどです。事前に読んで練習し、本番に臨もうそうです。深江さんは「私も楽しんできます。子どもたちには、ともかく本を好きになってほしい。そのきっかけになれば、と思っています」と話していました。

読み聞かせ会などを開いている書店

地区	書店名	実施日時	内容	絵地	住所	電話番号
福岡市	中央区	ジュンク堂書店福岡店	毎月第2、第4日曜日 いずれも14:00～	お話し会、 読み聞かせ	あすなろお話し会	天神1-10-13 メディアモール天神1-4階	092-738-3322
		リブロ西新平尾店	毎週土曜日13:30～ （ただし2011年の元日は休み）	読み聞かせ	リーベルのはなし会	平尾2-5-8 西鉄平尾駅ビル2階	092-534-3677
	博多区	あおい書店博多本店	毎月第2日曜日 15:00～	人形劇風の読み聞かせや紙芝居	自由の児童書担当書店員	博多駅中央街6-12 ヨドバシマルチメディア博多3階	092-433-7157
		紀伊國屋書店福岡本店	毎月第3日曜日 15:00～	読み聞かせ	ヴォイスメイク スクール	博多駅中央街2-1 博多バスターミナル6階	092-434-3100
	東区	紀伊國屋書店 ゆめタウン博多店	毎月第3土曜日 14:00～、15:00～の計2回	読み聞かせ、 ペープサート、 エプロンシアター	図書館などで活動するボランティア	東浜1-1-1 ゆめタウン博多2階	092-643-6721
	早良区	リブロ福岡西新店	毎週土曜日14:30～ （ただし2011年の元日は休み）	読み聞かせ	百貨の児童書担当書店員、主婦、学生のボランティア	西新4-1-1 西鉄エルモール プラリバ6階	092-833-8802
春日市		リブロ春日店	毎月第1土曜日14:30～ （ただし1月は来週）	読み聞かせ	主婦ボランティア	春日5-17 ザ・モール春日2階	092-583-5235
久留米市		リブロ久留米店	毎月第2、第3土曜日 いずれも15:00～	読み聞かせ	主婦ボランティア	天神町1-1 岩田屋久留米店新館4階	0942-36-9860

※「西日本ファミリー読書」のコーナー協力講座19店舗のうち、11月15日までにアンケートへの回答があった講座の、店頭での児童書読書推進イベントをまとめました。スケジュールなどの詳細は各店舗にご確認ください。

西日本ファミリー読書企画